

「南北統一とアジアの平和をめざす集い」を開催

日・韓・朝の議員等が交流
大 阪



平和、復興、繁栄について
日・韓・朝・米・中・露の各国が同じテーブルで真剣に話し合うべき」とした。

「南北統一とアジアの平和をめざす集い」(主催・南北統一とアジアの平和をめざす集い実行委員会、後援・関西アジア人協会等)が十月十九日夕、大阪市内のホテルで開かれた(写真)。日韓両国の地方議員、民団、朝鮮総連関係者、学者等約百五十人が参加、分断されている韓国と北朝鮮の「平和的統一」に向けての活発な意見の交換が行われた。

具体的には「日韓トンネルで九州(唐津)と釜山を結び、ソウル、平壤そして上海へ、またシベリア鉄道と連結しユーラシア大陸を横断、ロンドンまで通ずる世界ハイウエーを建設することが世界平和に繋がる」と述べた。

また、韓国・忠清南道大田広域市会議員団六人を代表して団長の沈俊洪氏は、「日韓ワールドカップで両国の友好関係はさらに深まった。北朝鮮との関係も今後良くなるでしょう」と述べ、「南北統一」が現実味を帯びているとの見方を示した。同会の朱委員や野村委員は、今後は参加者のそれぞれの国への相互訪問や、「南北を結ぶ鉄道の枕木(まくらぎ)基金のキャンペーン活動」をしていきたいと述べている。